県営岸脇地区土地改良事業
（経営体育成基盤整備事業）
事業計画書

事業主体　　滋賀県

目　　次

第１章　目的　1

第２章　地域及び地積　1
　第１節　地域　1
　第２節　地積　1

第３章　現況　2
　第１節　気象及び海象　2
　第２節　土地状況　3
　第３節　水利状況　5
　第４節　道路概況　11
　第５節　地域農業の概況　12
　第６節　地域環境の概況　15

第４章　一般計画　16
　第１節　事業計画の要旨　16
　第２節　営農計画及び土地利用計画　16
　第３節　用水計画　20
　第４節　排水計画　24
　第５節　道路計画　27
　第６節　農用地造成計画　27
　第７節　洪水調節計画　27
　第８節　干拓計画　27
　第９節　農用地整備計画　27
　第10節　老朽ため池改修計画　28

第５章　主要工事計画　29
　第１節　用水施設　29
　第２節　排水施設　30
　第３節　道路及び索道　30
　第４節　農用地造成　31
　第５節　洪水調節施設　31
　第６節　干拓施設　31
　第７節　農用地整備施設　31
　第８節　老朽ため池改修施設　31

第６章　附帯工事計画　32

第７章　工事着手及び完了の予定時期　32

第８章　環境との調和への配慮　32

第９章　換地計画の概要　32

第10章　事業費の総額及び内訳　33

第11章　効用　33

第12章　関連する事業　34

第13章　現況・計画図面　34

第１章　目的

本事業は農業競争力強化基盤整備事業に基づき、生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」に向け、担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化等を推進することを目的として区画整理及び農業施設の整備を行い、併せて必要な土地改良事業を総合的かつ集中的に実施するものである。

第２章　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設	滋賀県高島市今津町岸脇

第２節　地積

（令和7年3月現在）　　（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設	高島市	42.3	－	－	－	－	42.3	
合　　計		42.3	－	－	－	－	42.3	

第３章　現況

第１節　気象及び海象

１　一般気象

（第３表-1）

観測所名	今津観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備　　考
観測期間	昭和1年～昭和48年	5月　～　9月	10月　～　4月		
平　均　気　温　(℃)		22.4　℃	8.0　℃	14.0　℃	
降 水 量	平　均（mm）	684　mm	1,258　mm	1,942　mm	
	基準年（mm）	552　mm	1,344　mm	1,896　mm	昭和42年
降水日数	平　均（日）	40　日	118　日	158　日	
	基準年（日）	43　日	112　日	155　日	昭和42年
根　雪　期　間		11月19日～4月10日　根雪期間88日間　無雪期間223日間			
無　霜　期　間		10月15日～4月20日　無霜期間178日間			
最　多　風　向		NW	最大風速 (風向)	33.4 m/s （ＳＳＥ）	最大風速発生年月日　　昭和47年9月16日

２　特殊気象

（第３表-2）

観　測　所　名	第　1　位			第　2　位			第　3　位			第　4　位			第　5　位			備　　考
今津観測所																
観　測　期　間	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	
明治29年～昭和51年																
最大日雨量(mm)	170	S20.10.8	1/10	163	M44.8.4	1/8	162	M36. 7. 8	1/8	157	S27. 7.10	1/5	153	S34. 8.18	1/5	
最大連続雨量(mm)	324	S34. 8.12 ～ 8.13	1/20	280.0	S23. 7.23 ～ 7.24	1/17	207	S28. 9.24 ～ 9.25	1/10	200	S20.10. 7 ～10. 8	1/10	188	M36. 7. 7 ～ 7. 8	1/8	
最大連続干天日数(日)	39	S21. 6.29 ～ 8. 6	1/50	32	S27. 8. 6 ～ 9. 6	1/16	31	S35. 7. 9 ～ 8. 8	1/12	27	S30. 7.24 ～ 8.19	1/7	25	S19. 6. 6 ～ 6.30	1/5	

３　海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農業用排水施設	面積(ha)	－	42.3	－	－	－	42.3	－	－	－	－	－	－	－	－			
	比率(%)	－	100.0	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	－	42.3	－	－	－	42.3	－	－	－	－	－	－	－	－			
	比率(%)	－	100	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－			

（第４表-1-2）

項目 ＼ 土壌統（区）名	土壌統（区）分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農業用排水施設		計	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
黄褐色土壌　粘土型					L	L	SicL				18.6		18.6	I82
黄褐色土壌　強粘土型					L	L	SL				15.2		15.2	I81
強グライ土壌　壌土還元型					LiC	LiC	LiC				8.5		8.5	D34
計											42.3		42.3	

2　土地分類　　該当なし

3　土地利用の状況

（令和7年3月現在）　（第４表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設	高島市	42.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	42.3	
合計		42.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	42.3	

4　土地所有の状況

（令和7年3月現在）　（第４表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人所有	県所有	市所有	土地改良区	その他	計	備考
農業用用排水施設	面積 (ha)	42.3					42.3	
	受益者数 (人)						－	
	筆数 (筆)						－	
	権利関係	所有権						
	備考(関係戸数)						－	

第３節　水利状況

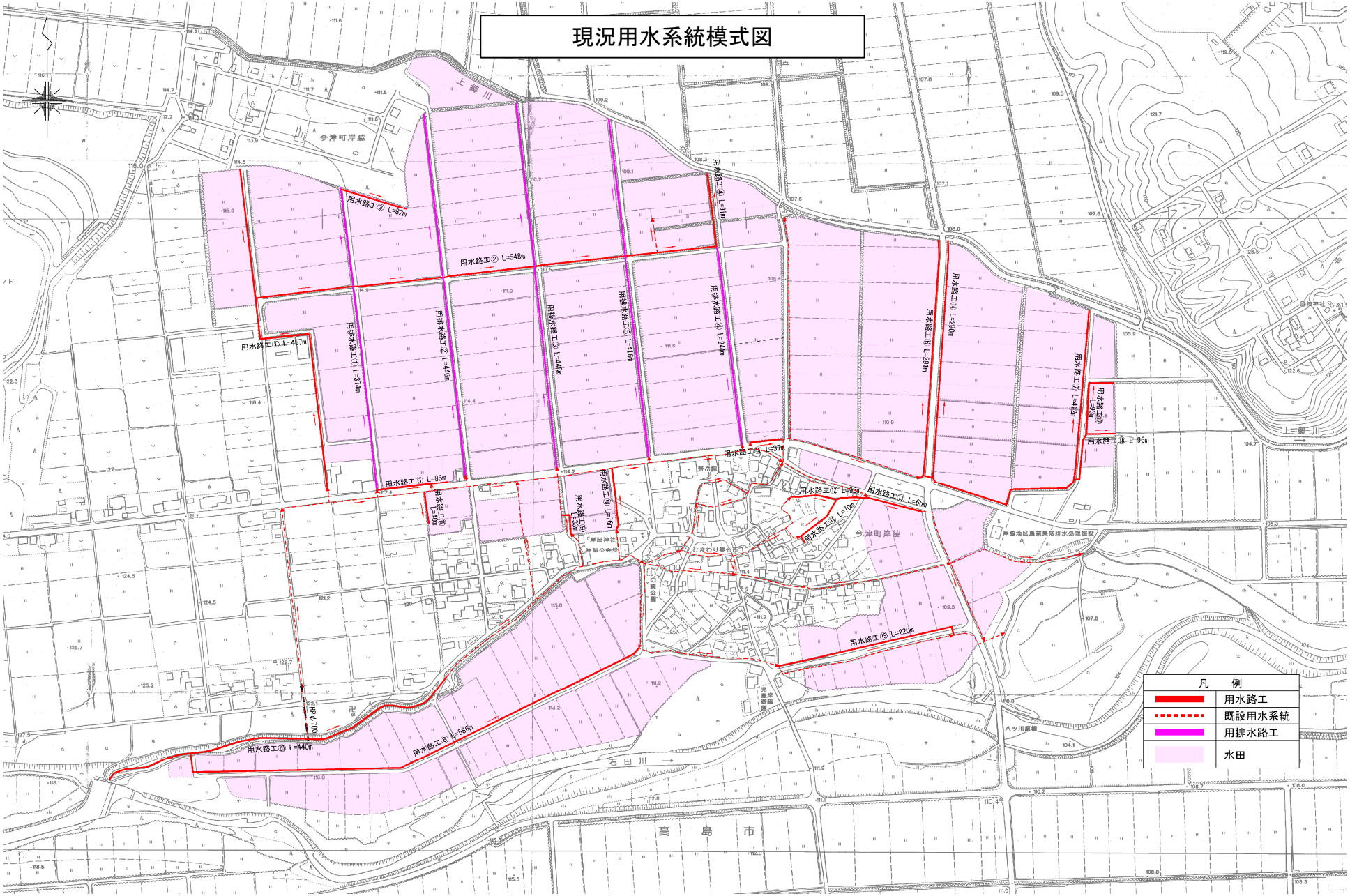
１　用水状況

用水として、石田川に設置された井堰を通じて取水した用水を利用している。
地区内では、前歴事業により造成されたコンクリート水路を通じて受益農地をかんがいしている。
各施設とも経年劣化により老朽化が著しい状況にある。

（１）用水系統

次頁、現況用水系統模式図　参照

現況用水系統模式図


凡　例
用水路工
既設用水系統
用排水路工
水田
上郷川
今津町岸脇
用水路工① L=457m
用水路工② L=549m
用水路工③ L=82m
用水路工④ L=191m
用水路工⑤ L=85m
用水路工⑥ L=440m
用水路工⑦ L=420m
用水路工⑧ L=58m
用水路工⑨ L=76m
用水路工⑩ L=440m
用水路工⑪ L=70m
用水路工⑫ L=93m
用水路工⑬ L=60m
用水路工⑭ L=96m
用水路工⑮ L=220m
用水路工⑯ L=37m
用排水路工① L=374m
用排水路工② L=446m
用排水路工③ L=448m
用排水路工④ L=24m
用排水路工⑤ L=416m
用水路工⑦ L=420m
用水路工⑧ L=290m
用水路工⑨ L=293m
用水路工⑩ L=93m
石田川
八ツ川新堀
高　島　市

（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表-1）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 100ha以上		かんがい面積 100ha～30ha		かんがい面積 30ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
農業用用排水施設	貯水池							－	－						
	井堰			1	42.3			1	42.3			1			
	自然取入口							－	－						
	揚水機							－	－						
	その他							－	－						
	計	－	－	1	42.3	－	－	1	42.3	－	－	1	－	－	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-2）

事業名	項目 / 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設	貯水池							
	井堰	1	42.3	鋼製スライドゲート		昭和53～57年度	老朽化	
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	54	42.3	コンクリート水路、現場打ち水路	UF200～400、BF350他	昭和53～57年度	老朽化	
	その他							
	計	55	84.6					

（３）用水に関する被害状況　　該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし

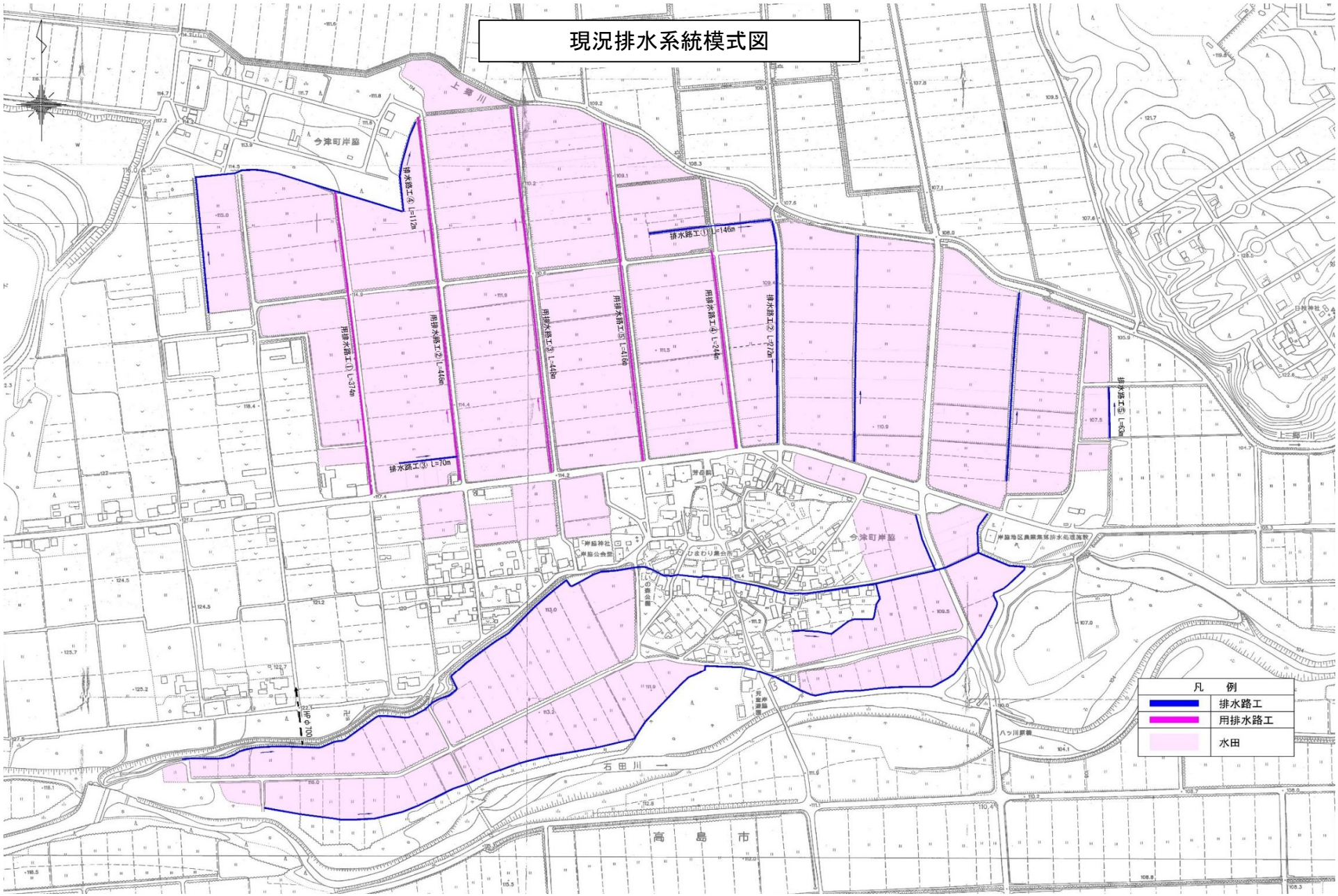
２　排水状況

本地区の排水は、地区内の水路を通じて、上郷川に流下している。

（１）排水系統

次頁、現況排水系統模式図　参照

現況排水系統模式図


上峯川
今津町岸脇
排水路工④ L=112m
排水路工① L=146m
用排水路工① L=371m
用排水路工② L=448m
用排水路工③ L=448m
用排水路工⑤ L=416m
用排水路工④ L=246m
排水路工② L=272m
排水路工⑥ L=63m
排水路工③ L=70m
上三郷川
今津町岸脇
石田川
高島市
凡例
排水路工
用排水路工
水田

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表-4）

事業名	項目／施設名		排水面積 100ha以上 箇所	100ha以上 ha	100ha～30ha 箇所	100ha～30ha ha	30ha未満 箇所	30ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 m^3/s	現況排水能力 m^3/s以上	備考
農業用排水施設	自然	排水路			1	42.3			1	42.3			
		水門								－			
	機械	排水機								－			
		水門及び排水機								－			
		排水路及び排水機								－			
	計		－	－	1	42.3	－	－	1	42.3	－	－	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-5）

事業名	項目／施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設	自然	排水路	5	42.3	プレハブ柵渠	H500～600×B500～800	昭和53～57年度	老朽化	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		5	42.3					

（３）排水に関する被害状況　　該当なし

３　河川状況　　該当なし

第４節　道路概況

１　道路概況

地区の中央を市道荒谷道線が東西に走っている。
地区の中央を市道下弘部酒波線が南北に走っている。

２　主要道路一覧表

（第６表）

No	路　線　名	管理区分別	延　長（m）	幅　員（m）		構　造	改修の要否	備　考
				全　幅	有　効			
1	市道荒谷道線	高島市	2,648	6.0	5.0	Ａｓ舗装	否	
2	市道下弘部酒波線	高島市	2,649	6.5	5.5	Ａｓ舗装	否	

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表-1）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	水道業 熱供給 電気ガス（人）	通信業 運輸（人）	小売業 卸売業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
高島市	22,790	1,258	57	56	5	1,888	4,624	87	964	3,137	304	192	8,247	1,517	454	
計	22,790	1,258	57	56	5	1,888	4,624	87	964	3,137	304	192	8,247	1,517	454	
比　率　(%)	100	6	0	0	0	8	20	0	4	14	1	1	37	7	2	

資料：令和2年国勢調査

２　経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

（第７表-2）

区分 / 市町村名	農業経営体数（経営体）	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		備考
		0.3 ha 未満	0.3～0.5 ha	0.5～1.0 ha	1.0～1.5 ha	1.5～2.0 ha	2.0～3.0 ha	3.0～5.0 ha	5.0～10.0 ha	10.0～20.0 ha	20.0～30.0 ha	30.0～50.0 ha	50.0～100.0 ha	100.0～150.0 ha	150.0 ha 以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	団地数	一戸当たり面積 団地当たり (ha)	
高島市	1,376	22	178	421	245	136	130	89	65	54	21	10	4	1	－	2.8	0.1	0.1	3.0	－	3.0	－	－	
計	1,376	22	178	421	245	136	130	89	65	54	21	10	4	1	0	2.8	0.1	0.1	3.0	－	3.0	－	－	
比率(%)	100	2	13	30	18	10	9	6	5	4	2	1	0	0	0	94	3	3	100	－	100	－	－	

資料：2020年農林業センサス

３　主要家畜頭数

（第７表-3）

項目 / 市町村名	主要家畜 乳用牛 数量(頭)	乳用牛 経営体数(経営体)	肉用牛 数量(頭)	肉用牛 経営体数(経営体)	豚 数量(頭)	豚 経営体数(経営体)	採卵鶏 数量(100羽)	採卵鶏 経営体数(経営体)			備考
高島市	430	4	3,707	9	x	x	179	4			「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	430	4	3,707	9	x	x	179	4			
100経営体当たり数量(頭・100羽)	31		269		－		13				
飼養経営体数割合（%）	0		1		－		0				

資料：2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表-4）

市町村名			高島市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積（ha）			4,980						4,980			
総本地面積（ha）			4,736						4,736			
区分 / 作物名			作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	（%）	
田		水稲	2,730	494					2,730	494	57.6	
		大豆	195	54					195	54	4.1	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		2,925						2,925		61.8	
畑									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		－						－		－	
樹園地									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		－						－		－	
計			2,925						2,925		61.8	
市町村別延べ作付率（%）			61.8						61.8			

資料：令和5年作物統計

5　農業の動向

（第７表-5）

項目 区分	農業経営体			土　地			主　要　作　物			大　家　畜			地　域 指定等	備　　考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 （Ｃ年を100とする指数）	農業 経営体数	82	64	耕　地	98	96	水　稲	100	95	乳用牛	88	67	農業振興地域 〈旧今津町〉 指定　S46.10 許可　S48. 5	A:令和2年 （農林業センサス） B:平成27年 （農林業センサス） C:平成22年 （農林業センサス）
	個人 経営体数	82	63	田	98	97	六条大麦	96	109	肉用牛	－	139		
	団体経営体 (法人)数	174	168	畑	84	71	大　豆	128	145	豚	－	－		
	団体経営体 (非法人)数	67	78	樹園地	132	129				採卵鶏	70	49		
変化の理由	後継者不足や、高齢化により農業経営体数が減少する一方、担い手の育成により団体経営体(法人・非法人)は増加。			農地転用等による耕地面積の減。			転作率の増加により、六条大麦、大豆の作付けが拡大。			畜産農家数の減少により、乳用牛、採卵鶏は減少傾向。				

資料：2020,2015,2010年 農林業センサス、作物統計

「－」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第６節　地域環境の概況

１　自然環境

（１）気象

高島市の気候は、日本海に近いことから日本海型気候の影響を受け、冬季は長期にわたって厳しい寒さと積雪の日が続き、山間部では有数の豪雪地帯となっている。また晩秋にもなると「高島しぐれ」と呼ばれる地域固有の不順な天気が続く。

（２）地形・地質

深い山々や谷筋から豊富な水が湧出し、これに合流して大きな河川となり、そして、その周辺には里山や豊穣な平野が開け、琵琶湖へと連なる変化に富んだ地形を形成している。

（３）水環境

森林や琵琶湖と河川の水辺環境、里山と集落が渾然一体となった郷環境など、これらの高島ならではの自然環境は、森羅万象の営みに多くの恵みをもたらし、多様な生命や生態系を育んでいる。

２　社会環境・地域指定

地域指定

田園環境整備マスタープラン：環境配慮区域

野菜指定：冬キャベツ（S41）、秋冬だいこん（S45）

３　生活環境

該当なし

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

本地区は、滋賀県の北西部に位置する高島市今津町に位置し、淀川(よどがわ)水系石田(いしだ)川(がわ)の左岸域に展開する水田地帯である。
本地区のほ場及び用排水路等は団体営ほ場整備事業石田川北部地区（S53～S57）により造成され、供用開始後40年以上が経過し、経年劣化による機能低下（用排水不良・漏水等）が著しく安定的な用水供給等に支障が生じている。ほ場についても、小区画・水はけが悪い（排水不良）等により作業効率や生産性が悪い状態にある。
このため、用・排水路の改修、暗渠排水及び区画拡大整備により、生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

２　事業別面積

（第８表）

事業名	農業用用排水施設																		計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
用排水路	42.3	－	－	－	－	42.3													42.3	
暗渠排水	(4.1)	－	－	－	－	(4.1)													(4.1)	
区画整理	(0.8)	－	－	－	－	(0.8)													(0.8)	
計	42.3	－	－	－	－	42.3													42.3	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

農地の集積化による大型機械の導入、用排水路や暗渠排水の整備により耕地の汎用化を進める。そして近代化施設による機械化一貫体系を確立し、水稲を中心に麦、大豆、野菜等を取り入れた複合輪作体系を促進し、中核農家の育成を図る。

２　土地利用区分

（第９表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
用排水路	現況	42.3	－	－	－	－	－	42.3	－	－	－	42.3	
	計画	42.3	－	－	－	－	－	42.3	－	－	－	42.3	
暗渠排水	現況	(4.1)	－	－	－	－	－	(4.1)	－	－	－	(4.1)	
	計画	(4.1)	－	－	－	－	－	(4.1)	－	－	－	(4.1)	
区画整理	現況	(0.8)	－	－	－	－	－	(0.8)	－	－	－	(0.8)	
	計画	(0.8)	－	－	－	－	－	(0.8)	－	－	－	(0.8)	
計	現況	42.3	－	－	－	－	－	42.3	－	－	－	42.3	
	計画	42.3	－	－	－	－	－	42.3	－	－	－	42.3	

3　作付方式

（第9表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農業用排水施設	現況	水稲	水田				○○	△△	—	—	—	××							○○	△△	—	—	—	××							○○	△△	—	—	—	××				○—○　播種
																																								△—△　定植
		大豆							○○	—	—	—	××								○○	—	—	—	××								○○	—	—	—	××			×—×　収穫
		(大麦)		—	—	—	—	—	××		○○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	××					○○	—	—	—	—	—	—	××					○○	—	—	
	計画	水稲	水田				○○	△△	—	—	—	××							○○	△△	—	—	—	××							○○	△△	—	—	—	××				
		大豆							○○	—	—	—	××								○○	—	—	—	××								○○	—	—	—	××			
		(大麦)		—	—	—	—	—	××		○○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	××					○○	—	—	—	—	—	—	××					○○	—	—	

４　生産計画

（第９表－３）

事業名	項目／地目名		作物名	作付面積(ha)			作付率（%）		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
農業用排水施設	水田	表作	水稲	27.0	27.0		67.5	67.5	501	516	15	135.3	139.3	4.0		4.0	
			大豆	13.0	13.0		32.5	32.5	65	65		8.5	8.5				
			小　計	40.0	40.0		100.0	100.0									
		裏作	六条大麦	10.9	10.9		27.3	27.3	307	307		33.5	33.5				
			かぶ	1.0	1.0		2.5	2.5	2,433	2,433		24.3	24.3				
			キャベツ	1.1	1.1		2.7	2.7	3,281	3,281		36.1	36.1				
			小　計	13.0	13.0		32.5	32.5									
	計			53.0	53.0		132.5	132.5									
	普通畑	春夏作															
			小　計														
		秋冬作															
			小　計														
	計																
	合　計			53.0	53.0		132.5	132.5									

※作付面積は本地面積

5　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作　物　名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区　分	現　況	計　画	増　減	備　考
農業用排水施設用	水田	水稲 (担い手)	23.0	人　力	13.5	12.3	△1.2	
				機械力	5.6	4.8	△0.8	
		水稲 (個別)	4.0	人　力	15.7	15.7	－	
				機械力	6.7	6.7	－	
		六条大麦	10.9	人　力	4.3	3.7	△0.6	
				機械力	3.0	2.6	△0.4	
		大豆	13.0	人　力	3.6	3.4	△0.2	
				機械力	1.8	1.7	△0.1	
		かぶ	1.0	人　力	94.4	92.2	△2.2	
				機械力	8.7	7.4	△1.3	
		キャベツ	1.1	人　力	93.0	91.3	△1.7	
				機械力	15.6	13.9	△1.7	
	小　計		53.0					
合　計			53.0					

6　級地別土地利用区分　　該当なし

7　土地配分計画　　該当なし

第３節　用水計画

１　計画基準年　　昭和42年（上位計画による）

２　計画かんがい方式

（１）水　田

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備　　考
早期	4月27日　～　5月3日	5月4日　～　8月10日	
早植	5月12日　～　5月18日	5月19日　～　9月10日	

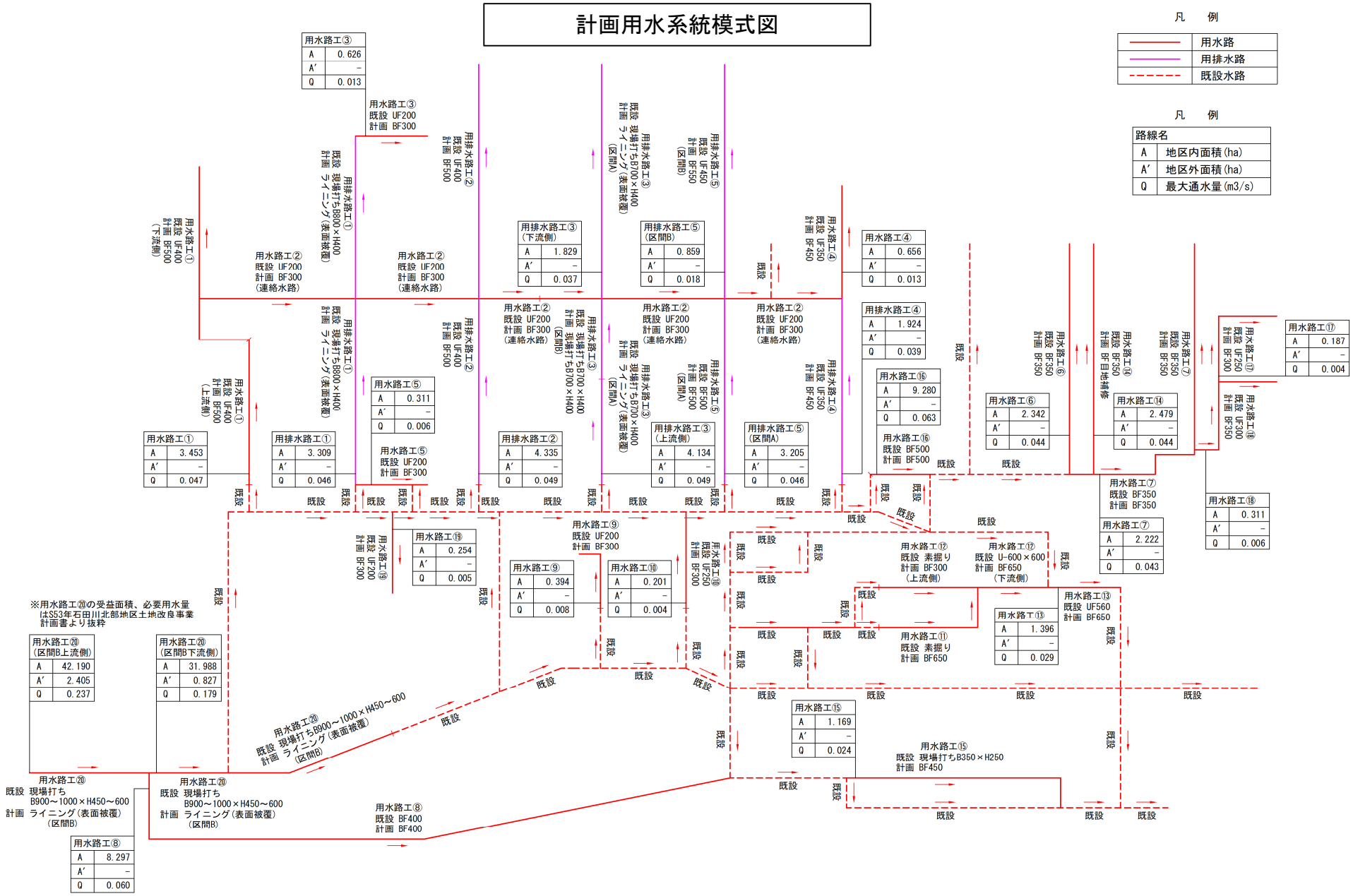
（２）畑（輪換畑）

うね間かんがい

３　計画用水系統

次頁、計画用水系統模式図　参照

計画用水系統模式図


凡　例
用水路
用排水路
既設水路
凡　例
路線名
A　地区内面積(ha)
A′　地区外面積(ha)
Q　最大通水量(m3/s)
用水路工③ A 0.626 A′ - Q 0.013
用水路工③ 既設 UF200 計画 BF300
用水路工① 既設 UF400 計画 BF500 (下流側)
用水路工① 既設 UF400 計画 BF500 (上流側)
用排水路工① 既設 現場打ち B800×H400 計画 ライニング(表面被覆)
用水路工② 既設 UF200 計画 BF300 (連絡水路)
用水路工② 既設 UF200 計画 BF300 (連絡水路)
用水路工② 既設 UF400 計画 BF500
用水路工⑤ A 0.311 A′ - Q 0.006
用水路工⑤ 既設 UF200 計画 BF300
用水路工① A 3.453 A′ - Q 0.047
用排水路工① A 3.309 A′ - Q 0.046
用排水路工③ (下流側) A 1.829 A′ - Q 0.037
用排水路工② A 4.335 A′ - Q 0.049
用排水路工③ 既設 現場打ち B700×H400 計画 ライニング(表面被覆) (区間A)
用排水路工③ 既設 現場打ち B700×H400 計画 ライニング(表面被覆) (区間B)
用排水路工⑤ (区間B) A 0.859 A′ - Q 0.018
用排水路工③ (上流側) A 4.134 A′ - Q 0.049
用排水路工⑤ 既設 UF450 計画 BF550 (区間B)
用排水路工⑤ 既設 BF500 計画 BF500 (区間A)
用水路工② 既設 UF200 計画 BF300 (連絡水路)
用水路工② 既設 UF200 計画 BF300 (連絡水路)
用排水路工⑤ (区間A) A 3.205 A′ - Q 0.046
用水路工④ 既設 UF350 計画 BF450
用水路工④ A 0.656 A′ - Q 0.013
用排水路工④ A 1.924 A′ - Q 0.039
用水路工⑥ 既設 BF350 計画 BF350
用水路工⑥ A 2.342 A′ - Q 0.044
用水路工⑯ A 9.280 A′ - Q 0.063
用水路工⑯ 既設 BF500 計画 BF500
用水路工⑦ 既設 BF350 計画 BF350
用水路工⑭ 既設 BF350 計画 BF目地補修
用水路工⑭ A 2.479 A′ - Q 0.044
用水路工⑦ 既設 BF350 計画 BF350
用水路工⑦ A 2.222 A′ - Q 0.043
用水路工⑰ 既設 UF250 計画 BF300
用水路工⑰ A 0.187 A′ - Q 0.004
用水路工⑱ 既設 UF300 計画 BF350
用水路工⑱ A 0.311 A′ - Q 0.006
用水路工⑲ 既設 UF200 計画 BF300
用水路工⑲ A 0.254 A′ - Q 0.005
用水路工⑨ 既設 UF200 計画 BF300
用水路工⑨ A 0.394 A′ - Q 0.008
用水路工⑩ A 0.201 A′ - Q 0.004
用水路工⑩ 既設 UF250 計画 BF300
用水路工⑫ 既設 素掘り 計画 BF300 (上流側)
用水路工⑫ 既設 U-600×600 計画 BF650 (下流側)
用水路工⑪ 既設 素掘り 計画 BF650
用水路工⑬ 既設 UF560 計画 BF650
用水路工⑬ A 1.396 A′ - Q 0.029
用水路工⑮ A 1.169 A′ - Q 0.024
用水路工⑮ 既設 現場打ち B350×H250 計画 BF450
※用水路工⑳の受益面積、必要用水量はS53年石田川北部地区土地改良事業計画書より抜粋
用水路工⑳ (区間B上流側) A 42.190 A′ 2.405 Q 0.237
用水路工⑳ (区間B下流側) A 31.988 A′ 0.827 Q 0.179
用水路工⑳ 既設 現場打ち B900～1000×H450～600 計画 ライニング(表面被覆) (区間B)
用水路工㉑ 既設 現場打ち B900～1000×H450～600 計画 ライニング(表面被覆) (区間B)
用水路工⑧ 既設 BF400 計画 BF400
用水路工⑧ A 8.297 A′ - Q 0.060
既設

4　計画用水量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	水田かんがい 普通期 単位計画用水量（mm/日）	代かき期 単位計画用水量（mm）	面積（ha）	水田畑利用 平均1日当たり計画かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	畑地かんがい 平均一日当たり計画かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	その他 計画平均単位用水量（mm/日）	面積（ha）	消費水量（m^3/s）	損失率（%）	粗用水量 平均（m^3/s）	最大（m^3/s）	備考
岸脇		42.3		42.3	25	150	31.8	30.0	5	10.5						0.201	15	0.196	0.237	
計		42.3		42.3																

（2）営農飲雑用水　　該当なし

5　水源計画

（1）水利用計画

（第10表-2）

区分 / 項目		消費水量 a（m3/s）	有効雨量 b（m3/s）	純用水量 c＝a－b（m3/s）	粗用水量 d＝c/(1－α)（m3/s）	現況利用可能水量 水源名	取水地点利用可能量 e（m3/s）	ほ場利用可能量 f（m3/s）	不足水量 純不足水量 g＝c－f（m3/s）	全不足水量 h＝d－e（m3/s）	水源依存量 水源名	水量（m3/s）	水源工種	備考 損失率：α＝15%
農業用用排水施設	代かき期	0.201	－	0.201	0.237	石田川		－	－	－	－	－	－	
	普通期	0.195	－	0.195	0.229	石田川		－	－	－	－	－	－	
	計													

（２）用水対策

（ア）貯水池　　該当なし

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（ウ）揚水機　　該当なし

（エ）用水路

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名			最大通水量	延長	構造	備考
	農業用用排水施設		計	(m^3/s)	(km)		
支線用水路	42.3		42.3	0.0293～0.4736	6.034	BF300～650	
計	42.3	－	42.3		6.034		

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）水温水質　　該当なし

第４節　排水計画

１　計画基準雨量

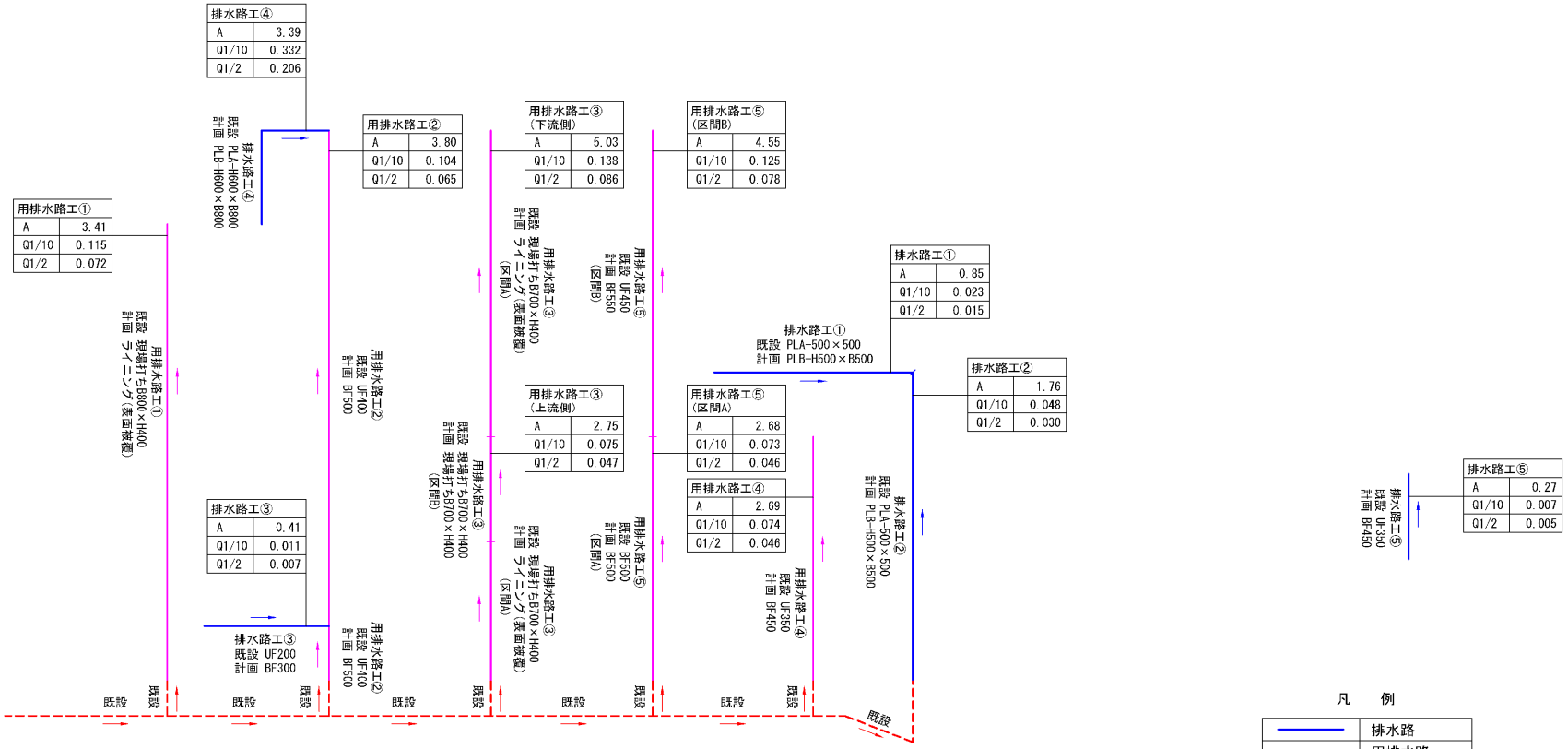
1/10年確率日雨量　　180　　mm/日

２　計画排水方式　　自然排水

３　計画排水系統

次頁、計画排水系統模式図　参照

計画排水系統模式図



凡　例

――――	排水路
――――	用排水路
- - - -	既設水路

凡　例

路線名	
A	流域面積(ha)
Q1/10	1/10年計画排水量(m3/s)
Q1/2	1/2年計画排水量(m3/s)

4　計画排水量

（第11表-1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名			流域面積（km²）		基準雨量	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²）		基底流出量（m³/s/km²）		全排水量（m³/s）			単位排水量（m³/s/km²）		備考
	農業用用排水施設		計	山地	平地	(mm)	山地	平地	山地	平地	山地	平地 自然排水	平地 機械排水	山地	平地	
地区内排水路	42.3		42.3		1.472	180										
計	42.3	－	42.3	－	1.472	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

5　排水対策

（1）排水水門　　該当なし

（2）排 水 機　　該当なし

（3）排 水 路

（第11表-4）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名			計画排水量（m³/s）	延長（km）	構造	排水本川			備考
		農業用用排水施設		計				名称	計画洪水量（m³/s）	計画洪水位（m）	
支線排水路	1.472	42.3		42.3	0.085～3.742	0.663	プレハブ柵渠	上郷川	－	－	
計		42.3	－	42.3		0.663					

（4）その他　　該当なし

6　たん水検討　　該当なし

第５節　道路計画　　該当なし

第６節　農用地造成計画　　該当なし

第７節　洪水調節計画　　該当なし

第８節　干拓計画　　該当なし

第９節　農用地整備計画

１　区画整理

（１）区画の形状

（第16表-1）

長辺　×　短辺 （m）　（m）	区　画　面　積 （ha）	全体面積 （ha）	割　合 （%）	田　面　差 （m）	備　考
100　×　50	0.8	0.8	100	－	
計		0.8			

（２）表土扱い　　該当なし

（３）末端道水路配置図　　該当なし

2　暗渠排水

（1）暗渠排水　　（第16表-3-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ﾘｯﾄﾙ/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
岸脇	4.1		4.1		180	0.0047	0.6		
計	4.1		4.1						

（2）心土破砕　　該当なし

3　客土　　該当なし

4　農地保全　　該当なし

第10節　老朽ため池改修計画　　該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池　　該当なし

２　頭首工　　該当なし

３　揚水機　　該当なし

４　用水路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積(ha) 事業名			通水量 (m^3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設		計		開きょ	トンネルその他	計				
支線用水路	42.3		42.3	0.0293～0.4736	6.034	－	6.034	BF	1/30～500		
計	42.3		42.3		6.034	－	6.034				

５　その他かんがい施設　　該当なし

第２節　排水施設

１　排水水門　　該当なし

２　排水機　　該当なし

３　排水路

（第18表-3）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名			排水量	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設		計	（m^3/s）	開きょ	トンネルその他	計				
支線排水路	42.3		42.3	0.085～3.742	0.663	－	0.663	プレハブ柵渠	1/500		
計	42.3		42.3		0.663	－	0.663				

４　その他排水施設　　該当なし

第３節　道路及び索道　　該当なし

第４節　農用地造成　　該当なし

第５節　洪水調節施設　　該当なし

第６節　干拓施設　　該当なし

第７節　農用地整備施設

１　区画整理

（１）区画整理

（第23表-1）

工区名	面　積　(ha)	整　地　工		表　土　扱　い		備　　考
		標準区画	土　量　(m3)	面　積　(ha)	土　量　(m3)	
岸脇	0.8	100×50				
計	0.8			－	－	

（２）末端用水路等　　該当なし

（３）末端排水路等　　該当なし

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第23表-4-1）

項目／区分	面　積　(ha) 事　業　名			集　水　渠				排　水　渠						集水渠出口以下の排水施設			備　考
	区画整理		計	勾　配	管　種	管　径 (mm)	延　長 (m/ha)	勾　配	管　種	管　径 (mm)	深　さ (m)	間　隔 (m)	延　長 (m/ha)	名　称	構　造	数量 (m/ha)	
岸脇	4.1		4.1	1/500	PE	60	40	1/500	VU	50-100	0.5	5	980				
計	4.1		4.1														

（２）心土破砕　　該当なし

３　客土　　該当なし

４　除礫　　該当なし

５　農地保全　　該当なし

第８節　老朽ため池改修施設　　該当なし

第６章　附帯工事計画　　該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着　　手	令和 8年度
完了予定	令和 12年度

第８章　環境との調和への配慮

1　整備上の配慮等事項

2　施行上の配慮等事項

移動能力の低い幼生や卵の少ない非かんがい期に工事を行うことで、濁水の影響から水生生物が回避しやすいようにする。

工事用の作業スペースは極力最小限にする。

工事施工に際して、低騒音型の機械を使用する。

第９章　換地計画の概要　　該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分＼事業名	農業用用排水施設（百万円）	備　　考
整地工	3	
用水路工	408	
排水路工	64	
暗渠排水工	13	
小計	488	
改め	488	
測量試験費	109	
用地買収補償費	5	
工事雑費	6	
小　　計	120	
事務費	24	
合　　計	632	

第１１章　効用

（第27表）

事業名	区分＼項目	年増加見込効果額（千円）	年増加見込所得額（千円）	備　　考
区画整理	作物生産効果	19,820	69	
	品質向上効果	2,403	0	
	営農経費節減効果	22,341	22,700	
	維持管理費節減効果	△ 460	△ 75	
	国産農産物安定供給効果	4,543	0	
	計	48,647	22,694	

＜参考＞

総便益額：　935,713 千円

第１２章　関連する事業　　該当なし

第１３章　現況・計画図面

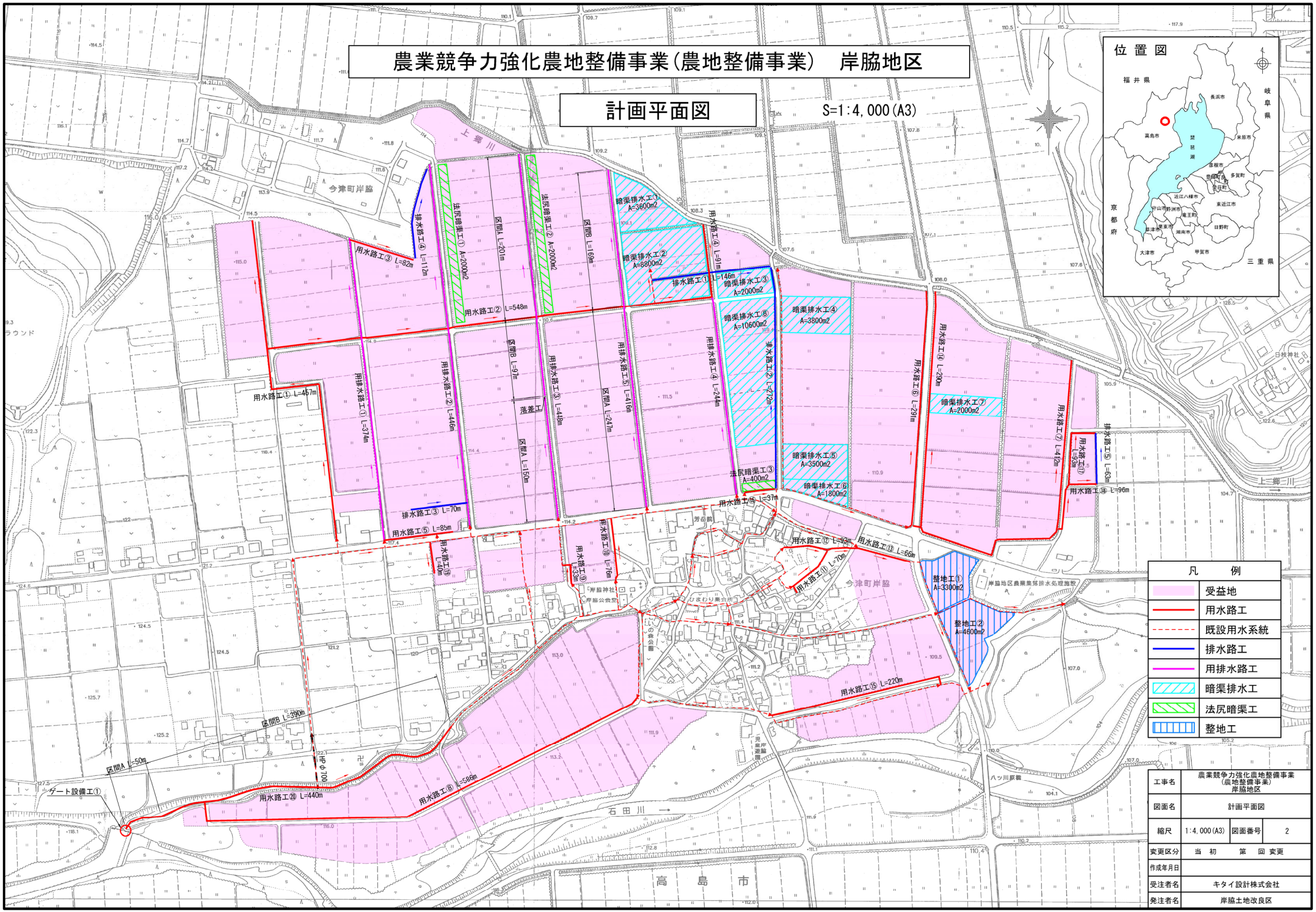
１　現況計画平面図

別添のとおり

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業）　岸脇地区

計画平面図

S=1:4,000(A3)



工事名	農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業）岸脇地区		
図面名	計画平面図		
縮尺	1:4,000(A3)	図面番号	2
変更区分	当　初　　第　回　変更		
作成年月日			
受注者名	キタイ設計株式会社		
発注者名	岸脇土地改良区		